

第二章 戰略的一般觀察

第一節 綜合觀察

一、概観

滿洲は總面積約一三〇万平方千米であつて之を大観して東部及西部の山岳地帯と中部の平原地帯とに大別せられ中部平原地帯は海及地障に依つて南北を限界せられてゐる

東部山岳地帯は長白山脈を軸心として東北は完達山脈、西南は遼東脊梁に連互し並走する數個の山脈より成り東一西、東南一西北方向の作戦に對し戰略上教段の持久地帯を構成する。此の山系には煤藏資源の賦存多く特にその南端地域に於ては滿洲第一の寶庫を形成してゐる此等諸山脈に依り區劃せられて安東、通化、朝陽鎮、敦化、開島、牡丹江、東安等の地区が介在する

中部平原地帯は黒龍江を以てソ領と境し北邊に於て小興安嶺及松花江下流地域の地障地帯を成しそれ以南は縦長一〇〇〇千米、幅員三一四

〇〇軒（南部は次第に狹窄）に亘る大平野を展開している。此の滿洲大平野は長春の南方に於て氣雨より西北に亘る二一三〇〇米の低夷な黒遼分水嶺がある。北方は松花江及嫩江の流域であつて之を北滿平野となし哈爾濱はその中心地である。松花江及嫩江は此の北滿平野を三箇の地区に分割している又その南方は遼河及大凌河の流域であつて之を南滿平野となし古來滿洲の中樞地域であり奉天はその中心地である。而して大遼河は北滿平野を東西に二分しその東部即南滿鐵道に沿ふ地区は現在に於ても亦全滿の核心地帯を成している。以上滿洲大平野の諸河川は交通線たると共に屢々蛇行して附近に湖沼、濕地を残し之が超越のためには戰略上の障礙を呈している然れども南北平野は大局より觀て大なる持久地帯なく全般的に戰略的延長の傾向を持つてゐる決戦地帯である。

西部山岳地帯は興安嶺及その四方コロンバイル高原、南部興安嶺台地帶並に熱河山地帯を以て構成せられる興安嶺は東西の作戰に対し

持久地帯を形成し又熱河地域は滿洲の西南部に在つて華北との間に重要なる戰略持久地帯を形成するその他のコロンバイル高原及南部興安嶺台地は広漠不毛の機動地帯である而して南部興安嶺台地は直接滿洲大平原中部を脅威し又熱河山地は直接華北平野就中京津地区を脅威するの位置に在る

而して滿洲の位置と広袤とは大作戰の縦深と自由とを許すものであつて南滿の寒氣緩和なるは一層此等に便宜を與へるものである殊に滿洲大平原には比較的容易に航空基地を求めることが出来、極東の四周を制壓するため大空軍の機動運用を可能ならしめると共に空挺作戰の指回にも好適な条件を具備している 又遼東半島の海軍基地は浦鹽方面と相俟つて大遼東側海面の制壓を完成するものである

(註) 本篇第三章以下各論に於ける地域の区劃は概ね上述の趣旨に添ひたるも局地相互の關係及分担者の體驗範圍等をも考慮し
 附圖第一の如く適宜接併区分した又記述上一部には自ら重複

三 天候気象

した部分もある

滿洲の作戦には天候気象に關し深甚なる考慮を必要とする即ち滿洲の氣候は大陸性で寒暑の差激しく特に冬季は低温であり降水量少なく年間雨量の大部が夏季に集中しあるのを特徴とする

氣温が氷点下に在る期間は概して南滿に於て十月下旬乃至十一月上旬より三月下旬乃至四月上旬であり又北滿に於て十月上、中旬より四月中、下旬までとある極寒一月の平均氣温は南滿に於て概ね零下十度乃至十五度又北滿に於て概ね零下十六度乃至二十度内外とし大小興安嶺地域に於ては零下二十五度乃至三十度に及ぶ結氷は地上の行動を容易にする一方寒氣及氷は作戦を拘束する従つて寒期の利用は価値あると共に特に北滿の寒氣に対しては十分なる対策が必要である

各地年間平均氣温は附表第一の如くである

雨量は六七八の三ヶ月に最も多く年間總量の六割を降し地域に依り

0335

作戦上相当の障碍となる。冬季は乾燥して降雪少なく積雪は作戦上大なる障碍を呈しない。其他三月乃至五月の間に此の地方特有の黄沙がある風向は一般に冬季北乃至西であり夏季は南乃至南東であるが此の季節的影響も南滿に強く北滿には薄い。

三 周邊地域

滿洲の外周を一瞥すれば東側はウスリー江河孟、豆滿江河孟、長白山脈であり、興凱湖南北及豆滿江流域より北滿地対し概ね東西の作戦が可能であり、又南側は鴨綠江河孟、黄海、渤海北岸並に華北平野であり鴨綠江中流及下流、遼東半島並に渤海西北岸、熱河正面より南滿平野に対する求心的（又は南滿平野よりする放射的）作戦が可能であるが此等の大部は海上勢力及華北航空の制扼下にある。又西側は内外蒙古高原乾燥地帯並にソ領チタ州起伏地帯であり北滿地対し概ね東西の作戦と共に南方に迂回するの作戦を可能とする。又

北側はゼーヤ、ブレイヤ河盆及無疆江下流地域であつて小興安嶺中部に於て南北方向の作戦と松花江下流地域に沿ふ東北―西南方向の一部作戦とを可能とする

而して滿洲は此等周邊より航空の集中攻撃を受くる地位にある反面滿洲を基地とする場合此等周邊地域を自由に制壓することが可能である

四 戰略的地位

以上の如く滿洲自体はソ領、内外蒙古及華北より包圍せられて内線に立つべき形勢にあるが今ヤソ聯は之を手中に収めて更に北緯を前滿洲に於て完成しつゝあり此の戰略態勢を打開せんがためには北緯突破とその兩翼たる日本海北部乃至オホーツク海正面及華北正面の打開とを以てするか然らずんば全く中國の形勢を改善し空海の制壓下に華北より北緯及遼東半島を迂回するか（此の場合には内線方面に対する配慮を必要とする）更に若くは大空軍力を以て

滿洲周邊就中ザバイカル方面に於てソ聯本土よりの支援機能を徹底的に遮断し以て滿洲を孤立せしむるか以上何れかの方策に出づべきであらう

蓋し滿洲を中心とする一般戦略の形成は滿洲東西の山岳地帯に依つて区劃せらるゝ滿洲大平原並に沿海州及内外蒙古の三戦路正面の考定を必要とする之に對し朝鮮は前進拠点であり又ザバイカル地方は後方策源を形成する此の際中國本土の動向は本戦略に至大の影響を持つものである

附表第一

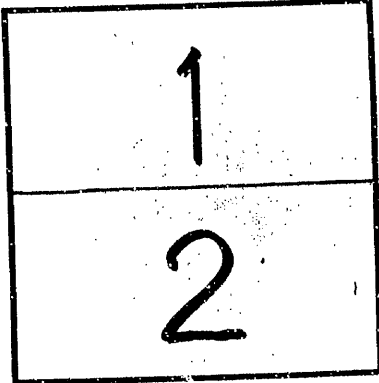
滿洲年間平均氣溫表(攝氏)

地名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均
黑龍江	-23.6	-16.8	-8.6	3.0	11.0	18.6	22.0	19.8	12.1	2.4	-11.2	-22.5	0.5
滿洲里	-25.7	-19.5	-9.0	4.0	11.3	18.4	21.6	20.0	12.5	2.9	-10.1	-21.8	0.4
海拉爾	-28.4	-21.5	-12.3	2.4	10.0	18.0	20.7	18.2	10.4	0.8	-12.8	-21.6	-1.2
興安	-28.1	-23.4	-13.7	1.9	9.6	17.2	20.6	18.3	10.6	1.1	-14.4	-25.2	-2.2
禮頓山	-27.1	-21.8	-13.9	0.5	7.0	14.2	17.2	15.2	7.9	0.7	-13.7	-22.5	-3.2
齊齊哈爾	-18.9	-14.6	-6.7	4.2	12.6	18.2	21.7	19.4	12.1	3.7	-6.5	-16.8	2.2
富錦	-20.7	-16.2	-6.2	4.5	12.7	19.2	22.1	20.6	13.0	5.8	-8.4	-17.5	2.6
東寧	-14.3	-13.8	-7.0	4.5	12.1	18.5	22.6	21.6	14.3	4.5	-7.1	-18.3	2.5
綏化	-19.6	-14.1	-5.1	4.8	11.6	17.1	22.8	21.9	13.8	5.2	-5.7	-16.5	2.9
綏芬河	-18.7	-13.7	-6.0	5.5	12.0	18.1	21.4	19.7	11.6	4.0	-7.1	-16.4	2.6
密山	-17.2	-12.6	-4.7	5.8	13.9	19.9	23.5	21.5	14.5	4.0	-5.4	-13.3	4.4
勃利	-20.9	-15.9	-6.4	5.1	14.2	19.5	22.0	22.2	14.3	5.8	-7.0	-17.6	3.2
勃利	-20.4	-15.2	-5.2	5.9	12.8	18.1	21.4	22.7	14.2	6.0	-4.8	-16.1	3.6
綏芬河	-18.3	-14.4	-5.7	4.0	10.5	15.5	21.1	22.2	13.0	5.3	-5.3	-14.7	2.6
長春	-16.9	-12.2	-4.4	6.5	14.5	20.1	23.5	21.9	15.0	6.7	-4.2	-13.7	4.7
延吉	-15.9	-10.6	-7.5	7.1	13.5	17.5	23.8	23.7	15.7	7.6	-2.3	-11.8	5.6
圖們	-13.0	-7.4	-2.0	8.1	15.7	22.1	24.2	22.7	16.8	8.2	-1.1	-11.1	6.5
赤塔	-13.7	-9.6	-2.5	8.6	15.1	20.9	24.0	22.3	15.3	8.7	-2.0	-10.2	6.4
奉天	-13.0	-9.2	-0.9	8.7	16.0	21.6	24.9	23.7	17.0	9.3	-1.0	-9.8	7.3
承德	-10.0	-4.0	2.3	12.7	17.8	22.2	25.3	24.8	17.5	11.2	0.7	-7.7	9.4
錦州	-10.9	-6.0	0.4	9.5	15.5	21.2	24.8	23.9	18.4	11.8	1.3	-7.7	8.5
營口	-9.8	-7.0	0.2	9.0	16.0	21.3	24.9	24.9	14.8	11.0	1.2	-6.9	8.6
大連	-5.1	-3.5	1.9	9.8	15.4	20.2	23.6	24.5	19.9	13.7	3.2	-1.9	10.3

二五

0339 0042

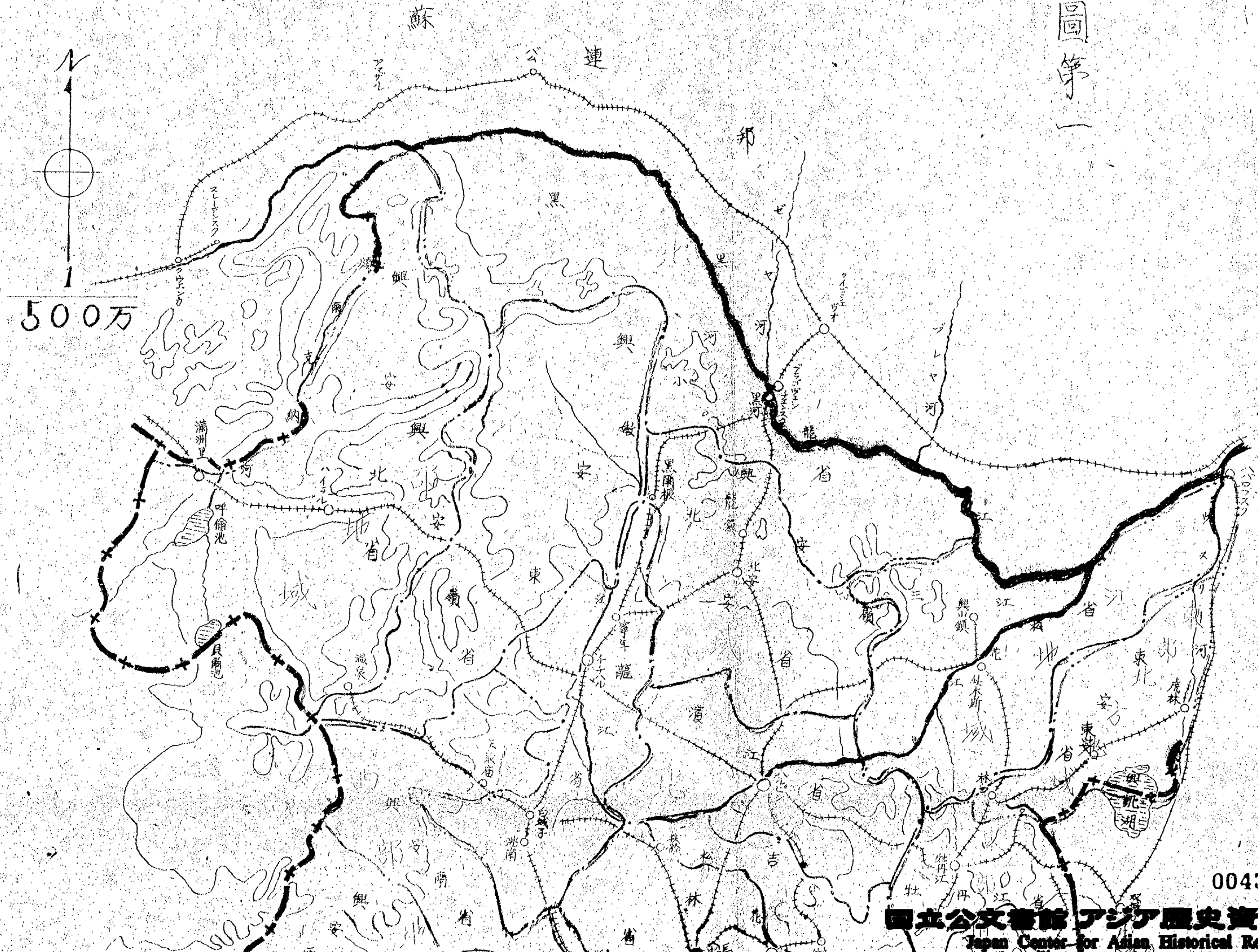
分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3版以上のため
文書等名	満洲概観及区画要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

0340
0341

滿洲概観及區劃要圖

附圖第一



0043



0043

中華民國

地理形勢。大體に於て、北は北平、東は遼寧、南は海州、西は綏遠に接する。又地形形勢は、北は北平、東は遼寧、南は海州、西は綏遠に接する。又地形形勢は、北は北平、東は遼寧、南は海州、西は綏遠に接する。